

細柄を用いた包装資材の図案作成支援

【相手先企業】

乙女屋 結城店

【目的】

対象企業は茨城県西近辺に数店舗を構える和菓子店で、各土地の特色を生かした花などを包装紙の図柄に採用しています。

結城市にオープンした店でも結城の特色が出せる模様を、ということで、結城市の花である「ユリ」を結城細の亀甲柄で表現した包装紙を作成したいとの相談を受け、そのための図柄の作成を支援しました。

【内容】

- 1) 図柄となるユリの花の下絵から作成。
- 2) 下絵を画像処理ソフトにて読み込み。
- 3) 当所で考案した設計図案作成法によって亀甲図柄に変換。
- 4) パターン展開。
- 5) 打ち合わせ。

以上の手順を繰り返しながら打ち合わせを重ね、色味やレイアウトのパターンを絞って最終案を決定しました。

【成果】

パソコンによってデザイン作業を行うことで、亀甲柄を効率よく作成し、また、多くのレイアウトパターン案を作成比較することでクオリティの高い包装紙となりました。

作成したデータはphotoshop形式であり、支援先企業が印刷を発注する上でも印刷所とのデータの互換があります。

現在、支援先企業から販売中です。



図は本誌印刷用に色味を調整しています。

基礎となった事業：試験研究指導事業

細柄を用いた包装材の図案作成支援の研究開発（平成14年度）

担当部署：繊維工業指導所 細技術部 石川章弘